

教育委員会定例会会議録

1 日時

平成30年 9月6日(木)

開会 9時30分

閉会 10時37分

2 場所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席委員 廣田恵子教育長、森脇健夫委員、岩崎恭典委員、黒田美和委員、
原田佳子委員

4 出席職員

教育長 廣田恵子(再掲)

副教育長 木平芳定、次長(教職員担当) 梅村和弘、

次長(学校教育担当) 宮路正弘、次長(育成支援・社会教育担当) 森下宏也、

次長(研修担当) 山本嘉

教育総務課 課長 梶屋眞

教職員課 課長 早川巖、班長 奥山充人、班長 大屋慎一、主幹 湯浅秀紀

福利・給与課 課長 中村正之、課長補佐兼班長 青木茂昭

高校教育課 課長 徳田嘉美、課長補佐兼班長 井ノ口誠充、班長 萬井洋、

充指導主事 水谷紀子、充指導主事 中村智宏

小中学校教育課 課長 野口宏志、充指導主事 村田憲彦

特別支援教育課 課長 森井博之、課長補佐兼班長 赤尾時寛、

充指導主事 遠藤純子、充指導主事 加藤尚大

保健体育課 課長 野垣内靖、課長補佐兼班長 嶋田和彦、

充指導主事 後藤大介

全国高校総体推進課 課長 三宅恒之、課長補佐兼班長 横山正吾

社会教育・文化財保護課 課長 山本寛二、班長 伊藤裕偉

5 議案件名及び採択の結果

議案第18号 職員の人事異動(市町立小中学校)について

審議結果

原案可決

議案第19号 職員等の旅費に関する条例及び知事及び副知事
の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する
条例案(職員等の旅費に関する条例関係)

原案可決

議案第20号 三重県文化財保護審議会委員の任命について

原案可決

6 報告題件名

- 報告 1 平成31年度三重県公立学校教員採用選考試験第2次選考試験の実施状況について
- 報告 2 平成31年度三重県立高等学校入学者選抜実施要項及び三重県立特別支援学校入学者募集要項について
- 報告 3 平成31年度使用県立高等学校及び県立特別支援学校教科書の採択について
- 報告 4 平成31年度使用小学校用教科用図書及び中学校用「道徳」教科用図書の各採択地区における採択について
- 報告 5 平成30年度三重県中学校総合体育大会の結果について
- 報告 6 第40回東海中学校総合体育大会の結果について
- 報告 7 平成30年度全国中学校体育大会の結果について
- 報告 8 平成30年度全国高等学校総合体育大会の開催結果について

7 審議の概要

・開会宣言

廣田恵子教育長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

全委員の出席により会議が成立したことを確認する。

・前回審議事項（8月16日開催）の審議結果の確認

前回定例会の審議結果の内容を確認し、全委員が了承する。

・議事録署名者の指名

黒田委員を指名し、指名を了承する。

・会議の公開・非公開の別及び進行の確認

議案第18号及び議案第20号は人事に関する案件であるため、並びに議案第19号は県議会提出前であるため非公開で審議することを決定する。

会議の進行は、公開の報告1から報告8の報告を受けた後、非公開の議案第18号、から議案第20号を審議する順番とすることを決定する。

・審議事項

報告1 平成31年度三重県公立学校教員採用選考試験第2次選考試験の実施状況について（公開）

（早川教職員課長説明）

報告1 平成31年度三重県公立学校教員採用選考試験第2次選考試験の実施状況について

平成31年度三重県公立学校教員採用選考試験第2次選考試験の実施状況について、別紙のとおり報告する。平成30年9月6日提出 三重県教育委員会事務局 教職員

課長。

1枚おめくりください。今年度、実施した1次選考の受験者数と合格者数に加え、一番右に第2次選考試験の受験者数を記載させていただきました。2次選考試験につきましては8月18日から8月31日まで1次の合格者に対して実施しました。2次の受験者は全校種・教科を合わせて996名でした。合格者発表は9月26日（水）の予定です。なお、この合否の結果は、各個人に郵送で通知するとともに、県庁掲示板に掲示し、教員採用ウェブサイトにも掲載します。

以上でございます。

【質疑】

教育長

それでは、報告1については、いかがでございましょうか。

岩崎委員

まだ2次の合格者が出てからということになるんでしょうが、近県と比較して、例えば小学校教諭の場合の倍率は、三重県はどうなんでしょう。

教職員課長

近県の倍率までは把握はしておりませんが、1次の申込状況を確認させていただいたところ、若干、他県についても減っているということは確認しております。

岩崎委員

他県も減っている。

教職員課長

申込者数が減っているのは、把握しています。

木平副教育長

全体的に倍率で見たとき、ここ数年の傾向として、やっぱり都市部が、小学校は特に競争率が低くなってきています。

一方で、退職者が増えている状況がありますので、そういう意味で、ここ3年高くなっている地域もありますが、都市部は希望者が減っているということで、倍率が減る傾向がございまして。

三重県の場合も、ここ何年か、もともとの採用者数が増えている傾向があるということもあって、倍率で見ると、小学校は特にですが、今年は減っているところでございまして、申込者数そのものが少しずつ減っているという動きがございまして。

岩崎委員

わかりました。ある程度の倍率は確保したいというところがありますからね。

森脇委員

小学校教諭の枠の中に英語枠というのはなかったでしたか。

教職員課長

ございます。

森脇委員

それはこの中に含まれているということですか。

教職員課長

含まれております。

森脇委員

中身については、知ることはできますか。例えば何人ぐらいというのは。

大屋班長

小学校の英語の特別選考につきましては、1次合格者数が14名のところ、最終の2次の受験者は12名というところまでできております。

教育長

ほかにかがでしょうか。よろしいですか。

－全委員が本報告を了承する。－

・審議事項

報告2 平成31年度三重県立高等学校入学者選抜実施要項及び三重県立特別支援学校入学者募集要項について（公開）

（徳田高校教育課長説明）

報告2 平成31年度三重県立高等学校入学者選抜実施要項及び三重県立特別支援学校入学者募集要項について

平成31年度三重県立高等学校入学者選抜実施要項及び三重県立特別支援学校入学者募集要項について、別紙のとおり報告する。平成30年9月6日提出 三重県教育委員会事務局 高校教育課長 特別支援教育課長。

今回、報告いたします実施要項は、高等学校入学者選抜及び特別支援学校入学者選考に係る事務手続等について規定したものであります。各県立学校及び中学校は、この実施要項に沿って選抜及び選考の事務を行います。

本実施要項は、10月中旬に冊子にして、各県立学校及び中学校に配布し、事務説明会を開催し説明を行います。11月初旬には、ウェブページにて一般公開をする予定でございます。

報告事項2の1ページをご覧ください。前年度からの主な変更点の概要でございます。2ページから4ページが新旧対照表となっております。

別冊資料が実施要項ですが、ここでは表記や日付に係る変更に関する部分に実線を施しております。なお、別冊資料の表紙の裏側にあります実施日程と、50ページから152ページまでの各高等学校別実施要項につきましては、7月の教育委員会定例会において、既に報告をしておりますので、本日は、それらを除いた部分について報告をいたします。

それでは、報告2の1ページにお戻りください。本年度の主な変更点は、5点でございます。1点目は、「義務教育学校への対応について」です。別冊資料の1ページをご覧ください。実施要項の冒頭の部分に、義務教育学校の後期選抜における各学校が、中学校等の各学年にそれぞれ該当することについて追加しております。

2点目は、「秋期入学者選抜における合格者の発表の時刻について」であります。別冊資料の35ページをご覧ください。上の（4）合格発表のところですが、秋季選抜における発表の時刻を、他の選考と同じ9時30分に変更するものでございます。

3点目は、「平成31年度三重県立高等学校への志願学区外及び県外からの入学者等取扱要項について」でございます。39ページをご覧ください。昨年度末の通学区域に関する規則の改正に伴いまして、志願学区外及び県外からの入学志願について整理するとともに、規則の別表の特例に定める高等学校の入学志願について追加するものでございます。2の「1 入学志願のできる者」の表現を整理をいたしました。手続を39ページ、40ページに記載させていただいております。42ページ、43ページに、保護者の転住を伴わない県外からの入学志願に関する要項を記載させていただきまして、44ページに対象となる高等学校を示しております。

4点目につきましては、口頭による個人情報の開示請求の期間についてです。49ページをご覧ください。中学3年生が開示請求をしやすくするため、また、高等学校の開示に係る事務を少しでも軽減するために、口頭による個人情報の開示請求ができる期間を延長するものです。これまで前期選抜では合格内定の日から1週間とし、後期選抜は3月の合格発表の翌日から1週間としておりました。このことにつきまして、両選抜ともに3月末日までを口頭開示請求ができる期間と改めるものでございます。

5点目につきましては、「三重県立高等学校入学者志願届出書（様式14）について」でございます。冊子の152ページ以降の各様式の右肩に改めてページ数を振ってございますが、その12ページをご覧ください。今回、通学区域に関する規則により、県内の普通科に志願学区外から志願することが可能になりました。この合格者は、県外の志願者と合わせて募集定員の5%の枠内で出すこととなります。

このため、この様式を提出することで、募集定員の5%の枠内に該当することを高校が明確に把握するため、また、対象部活動を定めた高校に志願する場合、当該部活動に入部する意志のあることを志願者が表明するため、出願の際に志願先高等学校に提出するためのものでございます。

以上で、平成31年度三重県立高等学校入学者選抜実施要項についての説明を終わります。

(森井特別支援教育課長説明)

三重県立特別支援学校入学者募集要項につきまして、昨年度と大きな変更点はございません。よろしくお願いたします。

【質疑】

教育長

報告2については、いかがでしょうか。

森脇委員

秋季入学者選抜のところで、時間をそろえるという話がありましたが、どうして時間が違っていたのか理由があったら知りたいなと思います。全然異論はないのですが、
高校教育課長

以前は、全てのところが10時からとなっておりますが、他の選抜につきましては、9時30分と変更をしてきたわけですが、この部分についてはまだ変更がなされておらず、昔のまま行っておりました。そのことによって受検者が勘違いをしたりすることもございますので、統一したということでございます。

教育長

よろしいですか。ほかにございませんか。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

報告3 平成31年度使用県立高等学校及び県立特別支援学校教科書の採択について
(公開)

(徳田高校教育課長説明)

報告3 平成31年度使用県立高等学校及び県立特別支援学校教科書の採択について

平成31年度使用県立高等学校及び県立特別支援学校教科書の採択について、別紙のとおり報告する。平成30年9月6日提出 三重県教育委員会事務局 高校教育課長 特別支援教育課長。

1ページをご覧ください。まず、県立学校の教科書採択の流れを説明いたします。県立学校の教科用図書については、毎年採択替えを行うこととなっています。特別支援学校小学部・中学部の検定本については、小学校・中学校と同様に4年に1度採択することになっています。児童生徒の特性等に適した教科用図書を選定し、公正確保を期するために、各学校において、外部の方も含めた校内選定委員会を設置し、協議のうえ、校長が県教育委員会に内申し、使用図書の採択を行います。

次に、採択の概要についてです。高等学校で使用する教科用図書につきましては、「高等学校用教科書目録」に登載されている教科書から選定いたします。平成31年度使用教科用図書の採択は、総数2,967点となっております。昨年度からは28点減少していますが、採択数が大きく変わった学校はありません。

3ページは、各学校別の内訳です。

また、5ページ以降は、各学校別の採択表となっております。

なお、今後、教育課程の変更があった場合には、教科書採択についても変更の可能性あることをご了解ください。

(森井特別支援教育課長説明)

続きまして、特別支援学校の教科書の採択の内容についてご説明いたします。1ページ3の(1)にありますように、特別支援学校では、児童生徒の障がいの種類や状態に応じて、検定本、著作本、一般図書の3つを採択しております。検定本は文部科学大臣の検定を経た教科書でございます。著作本につきましては、文部科学省が著作の名義を有する知的障がいのある児童生徒を対象とした教科書で、いわゆる「星本」と呼ばれるものや視覚障がいの児童生徒が使用する点字用図書等が含まれます。一般図書につきましては、児童生徒の実態に応じた絵本であったり、あるいは、卒業後の社会生活を見据えた内容となっております。

採択の状況につきまして、特別支援学校の総数で3,233点となりました。内訳につきましては、一覧表にお示ししたとおりでございます。

また、各学校の採択の一覧並びに各学校の採択表につきましては、75ページ以降

に記載させていただいております。

今年度、検定本につきましては、小学部の教科書の採択の年であるということで、昨年度に比べると、採択数が全体で982点の増加となっております。

平成31年度使用県立高等学校及び県立特別支援学校教科書の採択については、以上でございます。よろしく申し上げます。

【質疑】

教育長

報告3については、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

報告4 平成31年度使用小学校用教科用図書及び中学校用「道徳」教科用図書の各採択地区における採択について（公開）

（野口小中学校教育課長説明）

報告4 平成31年度使用小学校用教科用図書及び中学校用「道徳」教科用図書の各採択地区における採択について

平成31年度使用小学校用教科用図書及び中学校用「道徳」教科用図書の各採択地区における採択について、別紙のとおり報告する。平成30年9月6日提出 三重県教育委員会事務局 小中学校教育課長。

資料をご覧ください。本年度は、平成31年度から、小学校において使用する教科用図書の採択及び中学校において使用する「道徳」の教科用図書の採択の年に当たります。各市町教育委員会では、法令の定めるところにより、それぞれの責任と権限において、この8月31日までに採択が行われました。

県内には10カ所の採択地区がございますが、各採択地区で採択された教科用図書の発行者名を略称で示したものを添付いたしました。別紙の一覧表をご覧ください。別紙は、平成31年度から小学校で使用される教科用図書及び中学校で使用される道徳の教科書の一覧でございます。

小中学校の教科用図書は、原則として4年ごとに検定、採択がされることとなっております。小学校用の教科用図書では、今年度においては、道徳を除く各教科について採択が行われました。今回の採択では、平成29年度に教科書の検定が行われましたが、そこにおいては、新たな図書の申請がなかったことから、4年前の平成25年度の検定合格図書の中から採択が行われたところです。各採択地区で採択された教科用図書は、全ての教科で前回4年前と同じ発行者の教科用図書が採択されている状況でございます。

一方で、中学校用の教科用図書につきましては、一覧の一番右の列をご覧ください。今年度、各採択地区で採択された道徳の教科用図書の記載をしております。なお、今回の採択では、中学校の教科用図書では、道徳を除く各教科については、採択が行われていない状況でございます。

また、2ページには、各採択地区がどんな市町で構成されているか、地図で示したものを添付いたしましたので、ご参考にしていただければと思います。

以上、採択状況についてご説明させていただきましたが、採択状況一覧につきましては、県のホームページに掲載させていただきます。広く県民の皆様に情報提供したいと思っております。

以上、ご報告をさせていただきます。

【質疑】

教育長

報告4については、いかがでしょうか。よろしいですか。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

報告5 平成30年度三重県中学校総合体育大会の結果について (公開)

(野垣内保健体育課長説明)

報告5 平成30年度三重県中学校総合体育大会の結果について

平成30年度三重県中学校総合体育大会の結果について、別紙のとおり報告する。
平成30年9月6日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長。

お手元の資料1ページをご覧ください。平成30年度三重県中学校総合体育大会は、一部の種目を除き、7月25日(水)から8月2日(木)にかけて、県内各地において開催されました。当初、7月31日(火)までの開催予定でしたが、台風の影響により種目によっては、予定を変更して開催させていただいたところ です。

資料の2ページに、団体競技の上位入賞校一覧を、また、3ページから4ページにかけては、個人種目の上位入賞者一覧を掲載しています。

この大会結果等により、上位入賞の団体・個人が、この後、報告いたします東海大会に出場いたしました。

【質疑】

教育長

報告5については、いかがでしょうか。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

報告6 第40回東海中学校総合体育大会の結果について (公開)

(野垣内保健体育課長説明)

報告6 第40回東海中学校総合体育大会の結果について

第40回東海中学校総合体育大会の結果について、別紙のとおり報告する。平成30年9月6日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長。

お手元の資料1ページをご覧ください。

第40回東海中学校総合体育大会は一部の種目を除き、8月6日（月）から8月10日（金）にかけて、岐阜県内各地において開催され、本県からは16競技に約1,200人の選手が大会に参加しました。

結果につきましては、団体の部を1ページ目に、個人の部の上位入賞一覧を2ページに掲載しています。団体の部では、ソフトボール競技で度会町立度会中学校女子と、バドミントン競技で伊勢市立小俣中学校の女子が優勝するとともに、ソフトテニス競技においては、昨年度に続き、紀宝町立矢渕中学校の男子が優勝を果たしました。13競技に22校が3位以内の入賞を果たしました。個人の部では、ソフトテニスをはじめ、4競技の13種別で優勝するなど、延べ57名が3位以内の上位入賞を果たしました。

この大会の結果により、全国大会への出場権を獲得する団体・個人が多くありました。とりわけ、本年度は陸上競技で入賞者数が多く、中でも男子110メートルハードルで松阪市立三雲中学校の山田真大さんが、日本中学新記録となる13秒83という記録を出しました。

以上でございます。

【質疑】

教育長

報告6については、いかがでしょうか。よろしいですか。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

報告7 平成30年度全国中学校体育大会の結果について（公開）

（野垣内保健体育課長説明）

報告7 平成30年度全国中学校体育大会の結果について

平成30年度全国中学校体育大会の結果について、別紙のとおり報告する。平成30年9月6日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長。

資料1ページをご覧ください。平成30年度全国中学校体育大会は8月17日（金）から8月25日（土）にかけて、中国ブロックの各県において開催され、三重県から約240名の選手が大会に参加しました。

結果につきまして、三重県勢はご覧のように団体の部で度会町立度会中学校のソフトボール部女子が決勝まで駒を進めましたが、惜しくも2位という結果でした。

個人の部では、4競技において、延べ10名が8位以内の入賞を果たしました。その他の競技におきましても、全国大会という大舞台において、それぞれ持てる力を十分に発揮し、すばらしい成績を収めていただきました。

以上で、中学校における体育大会の結果の報告をおわります。

【質疑】

教育長

報告7においては、いかがでしょうか。

岩崎委員

参考までに教えていただきたいのですが、東海大会では山田君はすごく好成績だったんですね、中学生の新記録で。全国だと2位だったのは残念だなと思うのですが、これはタイムが悪かったんですか。

後藤保健体育課充指導主事

タイムが東海大会に比べると若干落ちました。

岩崎委員

それは残念だった。わかりました。

教育長

報告7について、他にいかがでしょうか。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

報告8 平成30年度全国高等学校総合体育大会の開催結果について (公開)

(三宅全国高校総体推進課長説明)

報告8 平成30年度全国高等学校総合体育大会の開催結果について

平成30年度全国高等学校総合体育大会の開催結果について、別紙のとおり報告する。平成30年9月6日提出 三重県教育委員会事務局 全国高校総体推進課長 保健体育課長。

無事に終わりました。ありがとうございました。まずもって、御礼を申し上げます。

資料1ページでございます。14競技15種目を、7市1町の8市町で7月26日から8月20日まで開催をいたしまして、無事に終了をいたしました。

競技成績ですが、7ページ8ページをご覧ください。7ページが団体の入賞者で、2位のアーチェリーで海星高校、3位でレスリングでいなべ総合、バスケットボールで四日市商業でございます。

8ページは個人の部でございます。優勝がウェイトリフティングの男子で、94キロ級の亀山高校増田竜星さんがスナッチ、クリーンアンドジャーク、トータルの3部門で優勝、体操競技のあん馬で暁高校の長崎さんが優勝ということで、優勝はこの2人でしたが、入賞の数は全部で52件で、去年の32件より20件ほど増えました。地元開催で、地元の声援や、子どもたちも地元の会場ということで頑張ったということだと思っております。

それから、また1ページにお戻りいただきまして、1の(4)の参加者でございます。選手・監督は約2万人弱お越しいただきまして、観客数は延べ37万6000人ということで、過去の5カ年平均より1割ほど増えました。また、東海4県全体では70万300人程度でしたので、過半数以上が三重県にお越しいただいたということでございます。

(5)の役員・補助員です。役員・補助員として関わっていただいた先生・生徒で

すが、役員は先生方で、4, 239名、補助員は生徒で6, 483名、合計1万人強の先生・生徒が大会を支えていただきました。

(6)の競技運営の安全対策ということで、非常に暑かったので、熱中症対策の関連につきまして、特に注意を払って行いました。そこにありますように、暑さ指数を図る計測機械というものを急いで購入いたしまして、全ての競技会場と練習会場に配置いたしまして、その数値に基づいて、現地で競技団体や高体連、市町実行委員会、県教育委員会の職員を入れて対策会議を行いました。例えば、仮設テントやミストシャワーを増設するとか、凍ったペットボトルやおしぼりを配るとか、氷水を入れたバケツを置くとか、市町によっては、救急隊員を常駐ということで、常に救急車を置いていただいたり、マイクロバスを用意して、そこにクーラーを効かせて、体調が悪くなった方は、そこで休ませるとかというような手配をしていただいております。

あと、各競技としては、2ページですが、主な対策では登山につきましては、ルートを短縮していただいたりとか、ザックの重量を軽減するという手配をいただきました。サッカーにつきましては、もともと35分ハーフで高校生の大会は短いのですが、クーリングブレイクということで、一旦テントに戻って3分間、体を休めるというのを入れていただきました。特に、暑さ指数、先ほどの機械の基準設定を28度、これは気温や湿度から測るんですが、去年は29度とか、その前は29.5度が目安であったのを、今回、三重県は28度を目安にして、それを超えたらクーリングブレイクを設けることとして、ほぼ全ての大会で設けました。他にもサッカーは給水タイムもごございますので、そういう意味では35分のハーフのうち、2回、そういうことを入れてやっていたり、ソフトボールは4回終了時に給水タイムを設定したりとか、守備が20分を超えた場合は水分補給するというようなことで、各競技によって配慮をいただきました。

その下、救護班の配置ということで、各競技会場に医師やナースと救急車が待機し、全部で457名の応急措置をさせていただきまして、44名が救急搬送でございました。そのうちの14件が熱中症ということで、昨年の山形は涼しかったものですから、昨年より少し増えてしまいましたが、おかげさまで重篤には至らずに、病院で点滴などを受けて、そのまま宿舎に戻って回復するという形でございました。

あと、その他安全対策ということでマニュアルをつくるとともに、弁当や宿泊等の監視も行いました。

台風12号や雷の影響で時間の変更や一時中断がありましたが、ちょうどハンドボールとバレーが始まったときに、台風12号が来まして、停電があったり、電車の影響もあって子どもたちが集まれないということがありましたので、開始時間を繰り下げて、お昼からとか、2時間遅れとか、そういう対策をとりました。サッカーなんかも雷で長時間、試合を中断して、また、雷が収まってから開始するということがありました。そういうような対応で、おかげさまで無事に行うことができました。

「2 総合開会式」です。ご観覧いただけたと思いますが、非常に高い評価を得まして、三重県の子どもたちが非常に頑張っているということで評価をいただいております。入場行進から始まって、優勝杯の返還、殿下のお言葉、選手代表宣誓ということをしました。

その後、歓迎演技では、従前、お話ししている太鼓と体操、新体操、ダンスという形で演技をさせていただいて、最後、選手団激励ということで、高校生活動のメンバーがみんなと一緒に「叶」という文字を表すダンスをして、会場と一体となったということで、詳細は2ページ、3ページに書いてございますが、ここに載っている高校の子たちが集まってやっていただきました。

あと、4ページは、高校生活動ということで、これも7月9日の定例会でお話させていただいたとおりでございますが、大会3日前に主要駅での清掃とか、あるいは、宿泊施設でのウェルカムボードということで、前回、お持ちできませんでしたが、こういうものを各ホテル、施設に高校生の手作りのものを置いて、歓迎の意を表したり、総合案内所を設置して、2,000名弱の方々が、案内所に来ていただいたり、大会会場の物販ということで、商業科、農業科の生徒たちが、ペットボトルのお茶とかアイスクリーム、ジャムとか、そういう自分たちがつくったものを、あるいは企業と一緒につくったものを販売するというので、三重県の高校生もアピールしてくれました。あと、伊賀くみひものミサンガや草花装飾も非常に頑張っていました。

反省点としましては、県民の声でも少しご指摘いただきましたが、総合開会式の帰りのバスが、本数を出していたのですが、渋滞の列になりまして、もう少しスムーズに、炎天下で待たせてしまったということが1点ございます。

逆に、お褒めの言葉をいただいたのは、ソフトテニスの会場で、北陸からお見えのお年寄りの御夫婦が、孫が試合に負けて帰ろうというときに、ガーデンでしたので、あそこは木陰が少ないものですから、歩いているときに、稲生高校の生徒に声を掛けていただいて、体育館が補助員・役員の休憩室になっていたので、そこにそのお年寄りの御夫婦を案内して休んでいただいて、飲み物をもってきて飲んでいただいたということで、感謝のお手紙をいただいたことがございましたので、そういう点は非常にうれしかった限りでございます。

現在は、東海4県でこういうものをまとめたものを全国高体連に報告する必要があると思いますので、その作業と大会自体の報告書、少し厚めのものですが、それをつくっております。それから、総合開会式の記録用のDVDとかを準備してございますので、でき上がりましたら、またご報告したいと思っております。

説明は、以上でございます。

【質疑】

教育長

それでは、報告8については、いかがでしょうか。

岩崎委員

私たちも総合開会式に見させていただいて、感動的で、よかったなって思いました。

そういう中で、あの暑さでしたから、熱中症対策でいろいろ取り組まれたにもかかわらず、やっぱり14件の熱中症があったというお話でしたが、そうすると、この457人も大体がそういう熱中症のような症状を示したということなんですか。これはけがとかそういうのもありますか。

全国高校総体推進課長

457件というのは、やはり切り傷とか捻挫とかが一番多くございます。熱中症も数は多いですが、救急車で搬送されたのが14件ということです。搬送の中では熱中症が一番、割合としては高くなっています。

あとは、どうしても接触する競技とかは、擦り傷、切り傷、捻挫、脱臼とか、そういうのがございます。

岩崎委員

中学生の大会はどうでしたか。熱中症の心配があったかと思うんですが。

保健体育課長

何件かありましたが、大きな事故には至らなかったという報告は聞いております。

黒田委員

県外から来られている方とかを含めて、弊社はたまたま宿泊施設を提供させていただいておりますが、何かご意見であったり感想であったりというのが、もしおありでしたら、教えていただけたらなど。全般的に良かっただけではなくて。

全国高校総体推進課長

基本的には全国高体連から委託を受けたJTBがとりまとめをしておりますので、そこはわかりましたら、またお届けできるかどうか、JTBに聞かないとわからないのですが、させていただきます。

黒田委員

結構、本当に細かい話ですが、監督の方たちが宿舎に戻って来られるのが遅くて、お食事の時間帯が合わないということが実際あって、弊社なんかですと、極力配慮させていただきたかったのですが、いいですよということでご辞退されたりとか、そういう現場で実際起っていることなどがあったので、善処するところは本当に改善をして、可能な限り対応をしていきたいという思いがあるんですね。なので、細かいことでもいいので、ご意見があれば、ぜひ、頂戴したいと思います。よろしく願います。

原田委員

この場をお借りしまして、私も総合開会式の感動に始まり、白山高校の活躍と高校生たちの頑張りにこの夏はとても楽しませていただいたわけですが、気になった点としては、総合開会式に少し正面側には少し空席があったことと、私たちは特等席で観させてもらって、非常に感動的だったのですが、屋外にいらっしゃったスタッフの方だったり、生徒さんは、中の様子は観ることはできていたのでしょうか。

全国高校総体推進課長

生徒たちに関しましては、こそっと入っていただいて観ていただきました。

空席の部分は、どうしても視界不良席というのが左右ございまして、そのあたりは映像が見られないので、わざと空席にしてあったりとか。

原田委員

あえて空席にしたところとは違い、グッズの袋は置いてあるんだけど、着席されてない席が正面側にあったような気がするんですが。

岩崎委員

我々が観ているところとは反対側の上の部分ですね。

原田委員

そうですね。だから、募集定員では満席になっていたという状況ですか。

全国高校総体推進課長

一般観覧者につきましては、定員を少し超えて当選というか、御案内をしています。

原田委員

ということは、ちょっと余分目にどこへ座ってもいいように置いていたのか、もしくは、当日になられてお越しになられてないというか。

全国高校総体推進課長

そういう方もみえます。

原田委員

特にすごく感動した部分、外で汗を流して頑張っている高校生たちが観られていたのか。何か観ることもできないぐらい、ほかに開会式中もやらなければいけない仕事があるなら別ですが、何か屋外にもモニターみたいなものがあって、少し感動を分け合えたらいいのかなと思った局面も頑張っているからこそありました。

黒田委員

最後にすみません。ウェルカムボードですが、弊社はフロントに設置させてもらってたんですね。そうしますと、本当に一般の宿泊の方も、そのことに触れていただきまして、非常に印象がよく、とても心のこもったボードでしたので、一緒によかったなというのが、スタッフも含めて申しておりましたので、伝えていただけると。

全国高校総体推進課長

視察に行ったときに、意外とホテルに何も無いのが多かったんです。子どもたちも一緒に連れていったときに、歓迎感があまりなかったのも、ホテルにお願いして、できれば置かせてくださいということで、また子どもたちに伝えさせていただきます。

黒田委員

なので、私も宿泊される高校の方たちのウェルカムボードをつくって、設置させていただきますして、触発にはなったので、すごくありがたかったです。

岩崎委員

やっぱり若い連中が四日市市内をグルグルしているというのはよかったですね。トンテキを食べに言ったら、神奈川の高校生が集団でトンテキを食べに来ていて、そういうのっていいなって。ジャージで来ているから一発でわかるというのはね。いい光景だなと思いました。

原田委員

感動を言葉に伝えて帰りたかったのですが、やっぱりご招待いただいた立場なので、本当に黒田委員がおっしゃったように、頑張った生徒たちに私たち大人が非常に感動したと、ありがとうというか、そういう言葉を本当に伝えて帰りたいたいと思うような総合開会式でしたので、この場をお借りして、そういうことをお伝えいただけたらと、お願いができたらと思います。

岩崎委員

教育長さん、皇太子の横で説明をされていたんでしょう。差し支えなければ、どうい話があったのかというのは。

教育長

報道も随分されていましたが、あの演技の内容について、私が一つひとつ、これはこういう真珠で、三重県は真珠のとか、波を表しますよとか、忍者のことをモチーフにしていますとか説明をしていたら、すばらしいというお話をいただきました。本当にすばらしい、太鼓も特別支援学校の子がというような、一つひとつ、第1章からご説明を簡単にしていってのですが、それはすばらしいとか、途中では、これも報道にありましたが、アタックナンバーワンの音楽が流れ始めたときには、懐かしいですね、鮎原こずえですねみたいな言葉をおっしゃったりとか、本当にひと月も前の話ですが、そのようなお言葉をいただきました。

それでは、報告8については、よろしいでしょうか。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

議案第18号 職員の人事異動（市町立小中学校）について（非公開）

早川教職員課長が説明し、委員審議のうえ採決の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第19号 職員等の旅費に関する条例及び知事及び副知事の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案（職員等の旅費に関する条例関係）（非公開）

中村福利・給与課長が説明し、委員審議のうえ採決の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第20号 三重県文化財保護審議会委員の任命について（非公開）

山本社会教育・文化財保護課長が説明し、委員審議のうえ採決の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。